



## メールもSPNもOK!

登場人物は...

薬学部の大学生:舞 

大学の先輩:大輔 

薬局の主人:修一郎 

料理店の親父:通称“仙人” 

### 【前回までのあらすじ】

仙人のサポートもあって、思ったより簡単にインターネットが繋がった。念願がかなった修一郎は、ネットサーフィンに夢中。もっと色々なことをやってみたい。そんなことを考えていたときに、舞がやってきた。

「おじさん、パソコンの調子はどうですか」

「舞ちゃんか。インターネットというのは楽しいものだね。これだけの情報が見られて、月々数千円なら、安いものだよ」

「今度、面白いサイトが見つかったら、メールで連絡しますよ」

「そのメールなんだが、どうしたら使えるのかなあ」

「あっ！ごめんなさい。パソコン側のメールの設定を忘れてました」

「パソコン側の設定???そういうのも必要なのかい?」

「メールって、パソコンに直接送られてくるわけではないんですよ。インターネットの中にあるメールサーバという高性能のコンピュータに一度送られて来て、そこに溜められるんです。それを取りに行くための設定がパソコン側にも必要なんです」

と、やけにスラスラと話す舞。実はこの辺の話は、先日仙人に詳しく聞いていて予習済みなのだ。

「メールって勝手に送られてくるものだと思う

ていたけど…。取りに行かなければならないなんて面倒だなあ」

「そんなことないですよ。もし、メールが直接送られてくるとすると、1日中パソコンの電源を入れておかないとダメなんですから」

「ほお。メールサーバとやらは“一時預かり所”ってところか。それなら、サーバに預かってもらって、好きなときに取りに行った方が便利だね」

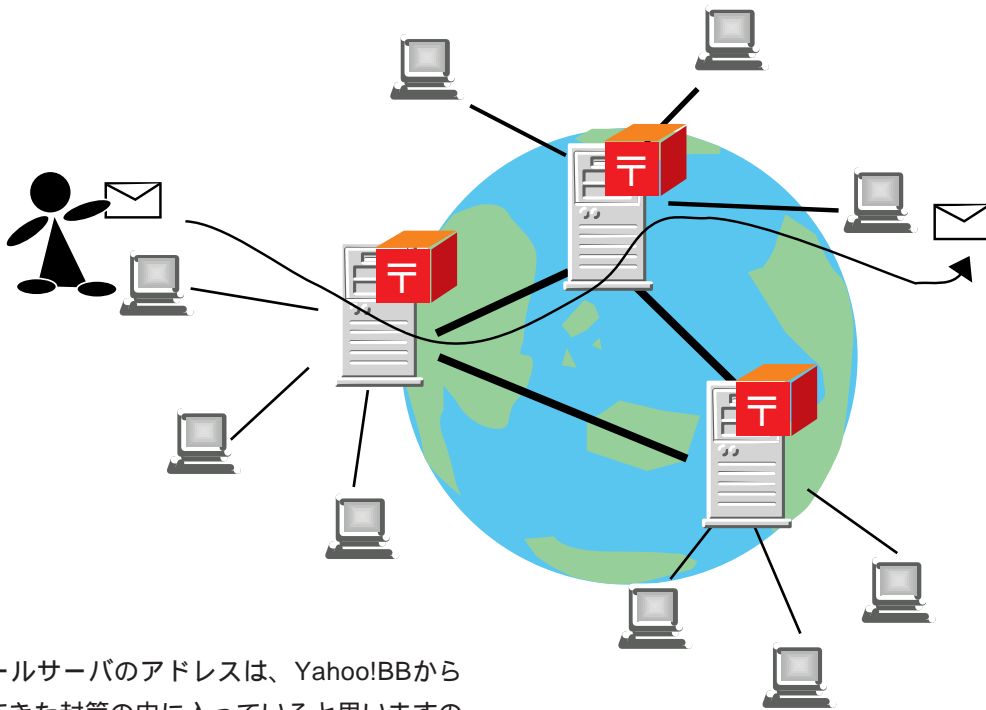
「そうなんです。設定しておけばパソコンが自動で取りに行ってくれるので手間はかからないですよ」

「あ、そうなんだ」

「じゃ、パソコンのメールの設定をしますね。WindowsやMacのOSには、標準でメールソフトが入ってるからソフトをかう必要はないんですよ。基本的にはメールサーバのアドレスと、自分のメールアドレスを設定するだけなんです」

「ロボットに、どこの郵便局に取りに行って、どこどこに配達しなさいと教えるということだね」

「その通り！おじさんもだいぶ分かってきましたね」



「メールサーバのアドレスは、Yahoo!BBから送られてきた封筒の中に入っていると思いますので見せてくれますか？」

「この封筒かね」

「ちょっと、拝見します。このSMTP (simple mail transfer protocol) サーバアドレスというのがISP (internet service provider) のメールサーバのアドレスです。おじさんのメールアドレスは、この前、メモをおじさんに渡しましたよね」

「kero3@yahoo.ne.jpというやつだね」

「これで、設定は完了です。あとは、何分おきにメールを取りに行くかを設定します。5分おきで良いですか？」

「まかせるよ」

設定が済んで一息ついていると、舞のケータイが鳴った。大輔からだ。

「大輔さん、ちょうど良かった！今、薬局にいるんだけど、パソコンのメールソフトの設定が済んだところなの。試しにおじさんのパソコンにメールを送ってこない？」

「また抜け駆け？！でも、おじさんのところに、初めてメールが出せるというのは光栄だね」

「講釈は良いから、早く送ってよ」

「了解」

電話を切って、しばらくすると、「メールを受信しました」というメッセージと共に画面の中の小さなランプが点滅した。大輔からのメールだ。

『修一郎おじさん、舞ちゃん、開通おめでとう。メールがあると楽チンですね。これからもよろしくお願いします！From 大輔』

「おー、初めてのメールか。ちょっと感動するね」

「返事を書いてくれますか？そこの返信というボタンを押すと返信用の白い画面が出てくると思います」

「ワープロと同じ要領で書けるんだね」

『大輔くん、遅刻は厳禁だよ。これからは、遅れそうなどときには事前にメールを入れるようにしてください。修一郎 拝』

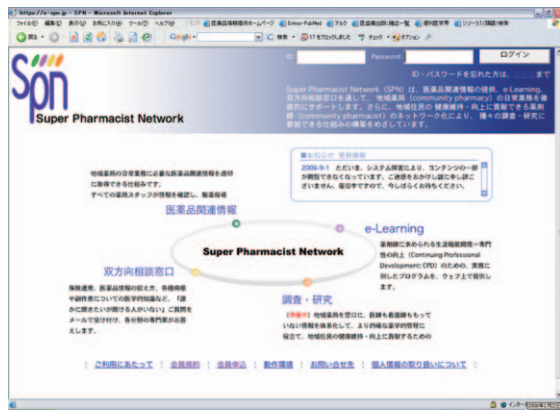
「舞ちゃん、ありがとう。お願いついでに、もう一つ頼みたいことがあるんだ」

「何ですか？」

「友人に教えてもらったSPNという薬局向けの情報提供サイトを見てみたんだけど、画面を押しても何にも反応が無いんだ」

「ちょっと拝見。」

「医薬品関連情報の提供やe-Learning、双方向相談窓口を提供しているようなんだけど…。何で使えないんだろう」



「ふんふん。このサイトは、登録制になっていてIDとパスワードを入れないと使えないみたいですよ」

舞はSPNのメニュー「ご利用にあたって」を見て言った。

「会員費もかかるみたいですね」

「インターネットのサービスは、全て無料ではないのかね」

「無料で公開されているサイトと、有料のサイトがあるんです。顔が見えないインターネットの世界では、特に無料のサイトは、誰かがいい加減な情報を流しているかもしれないし、人をだましてお金を盗もうとする罠があるかも知れないんです。インターネットに流れている情報を全て信じるのは危険だし、怪しそうなホームページは見ないようにしたほうが良いですよ」

「SPNのログイン画面の下の所に、GeoTrustのオレンジ色の矢印のマークのアイコンがありますね。これは、ジオトラストという会社が、SPNのサイトが偽物でないと言う事を証明しているんです。これがあると、通信が暗号化されて、個人情

報とか登録情報が盗まれる事がないんですよ」  
またまたやけに詳しい舞。これも仙人から伝授されたばかりだ。



「なるほど、そういえば薬局の業務で使うような情報は、有料でも出所のはっきりした信頼性のあるものを使べきで、仕事で使うんだから多少の出費は覚悟しろ、と友人も言っていたよ」

「ところで、いくら位かかるんだろう」

「年間契約で3万円と書いてありますよ」

「ちょっと高いなあ…。でも、月に直すと2,500円か。新聞より安いんだね」

「申し込みのボタンを押したら、お試し会員（無料）のお申込みができます、と書いてありますよ」

「お試し会員、というのは何だね」

「最初から会員になるのではなく、試しに使ってみて気に入ったら本会員になる仕組みです。試供品のようなものです。お試し会員になればIDとパスワードがもらえて、90日間は無料で使えるみたいですよ」

「舞ちゃん、取りあえず、お試しで登録してくれる？」

舞は、修一郎の代わりにキーボードをたたいた。しばらくすると、メールが届いた。メールに書いてあるホームページのURLにアクセスすると初めてSPNのサービスを受けられるようになる。これは、申し込みだけして実際には使わないというイタズラを防止するための仕組みで、本人確認も兼ねている。

「メールが使えるようになって良かったですね」



SPNの良い所は、重要な文書はSPNが管理してくれる所だ。例えば『重要な添付文書改訂情報』では、新着情報があると「何件の未読があります」とシステムが言ってきてくれる。一度目を通すと既読になる。これで、重要な文書の読み忘れを防ぐ事が出来る。

左のメニューには、興味深い項目がずらっと並んでいる。Pharmavision誌によれば、『e-Learning』は、自分の薬に関する総合力のチェックにもってこ

「そうだね。メールには、こんな使い方もあるんだね。しばらく、SPNを使ってみよう」

修一郎は、次の日から、朝、店の準備ができるまでパソコンの電源を入れてSPNを確認するのが日課になった。IDとパスワードを入力すると、画面が切り替わって、『Member 修一郎様 こんにちは』というメッセージが出てくる。夜に開くと『こんばんは。夜遅くまでお仕事ご苦労様です』と出てくる。最初は、この心遣いに感激していた。自分の名前がパソコンの画面に出てきて励ましてくれると言うのは、初心者にはうれしいものだ。次に読むのが、『今日のミネルヴァの森』だ。ちょっとした薬に関する蘊蓄が短い文章で書かれている。

その下に4つのボタンが用意されている。『重要な添付文書改訂情報』や『緊急安全性情報』は、厚生労働省から文書通知される指示で、薬局として速やかな対応が必要な情報である。これは、必ず目を通して見る。『経過措置品』はその名のとおり、経過措置になった薬剤の情報を検索して調べられる。『質問への回答状況』は、薬局業務に関する疑問や質問を著名な先生方に聞くことができるシステム『双方向相談窓口』の回答状況を表示している。

いのようなのだ。テスト結果が分野ごとにレーダチャートで表示されるので自分の実力と苦手分野が一目でわかる。

『双方向相談窓口』は、今まで悶々として悩んでいた疑問をぶつけられる。しかも、自分の質問に個別に答えてくれるのもありがたい。

「e-Learningの一部も双方向相談も本会員にならないと使えないのか…。なるほどなあ」  
修一郎は一人うなずいた。

修一郎は、SPNを使うようになってから、インターネットの認識が大きく変わった。それまでは、なんとなくネットサーフィンしたりゲームをしたりするくらいで、薬局の実務にこんなに使えるものだとは思っていなかった。

修一郎は、どこかの本に書いてあった『インターネットはグローバルブレイン』という一節を思い出した。薬に関する膨大な情報を、加工して提供してくれるのがSPNだと思った。

SPNは、修一郎にとって薬局の実務に役立つ有能なブレインになろうとしていた。お試しの期間が過ぎてても使いたかったので、修一郎はSPNの本会員になることにした。これで双方向相談もe-Learningも使えるようになる。舞に加えて、SPNという仲間が薬局の一員に加わった。

IT用語  
レスキュー隊

パソコン雑誌や新聞を読んでいると、意味が分からないIT用語がたくさん出てきます。ITの世界の進歩が速すぎて、一般用語に咀嚼されていない言葉たちです。そのような用語をトリビア的に解説してみたいと思います。酒席などでITについての知ったかぶりにお使いください。

【ア】

・アーカイブ

NHKアーカイブズという深夜番組がありますが、そもそも、記録や資料を大規模に貯蔵するという意味です。ITの世界では、容量の大きな分割されたファイルを一つにまとめて圧縮することを言います。電子メールで何枚もの写真のデータを送るのは、かなり手間のかかる作業です。そんな時は、アーカイバというソフトを使って小さく一つにまとめることができます。「このファイルをアーカイブして送っておいで」というように使います。

・アーキテクチャ

元々は、建築関係の用語です。コンピュータのシステムを作る場合も、ハードウェアやネットワークという土台を作って、その上にWindowsやMacOSなどのオペレーティングシステムを乗せて、更にワードやエクセルというアプリケーションソフトを構築するというように、ビルを建てる時と同じような手順を踏むことから、コンピュータの基本設計のことをアーキテクチャと呼びます。通信の世界では、7階層に分けて設計をするので、ネットワークアーキテクチャなどという呼び方もあります。

・アイコン

アイコンとも言い、キリストの肖像など、どこか宗教的な匂いがする言葉です。コンピュータの操作をするための部品や機能を分かりやすい絵文字にしたものを言います。フォルダやゴミ箱の形をしたアイコンをマウスでクリックする操作方法を普及させたのはアップルです。CEOのステイブ・ジョブズが若い頃、インドを放浪していたことは有名ですが、曼陀羅などのシンボルからヒントを得たのかも知れません。

・アウトソーシング

多用化するニーズに対応しライバル企業との競争に生き残るためには、ITの導入が必須になってきました。コンピュータが

社内に導入されると、それを管理する人や物、サーバを置くスペースなどの問題が出てきました。このコンピュータの運用や定型的な仕事は外部の専門の企業にまかせるという考え方がアウトソーシングです。最近は逆に丸投げした業務を社内に戻す、インソーシングという言葉も出てきました。

・アカウントビリティ

この言葉は、個人情報漏洩の対策を行うマニュアルの中などで良く目にします。通常は、説明責任という日本語が当てられています。情報漏洩は、日常茶飯事になってしまいましたが、最初は、かなり神経質になっていました。事件を起してしまった企業のトップは、お客様にその原因と対策を説明する社会的な責任があります。アカウントビリティが果たせなければ経営者としては失格です。

・アクセス

分かるようで分からない言葉の典型でしょう。ホームページへアクセスしてください、とか、このネットワークへのアクセス制御、という使い方をしますが、アクセスを日本語で何て言うのか聞かれると、はたと困ってしまいます。一般的には、会社へのアクセスは地下鉄をご利用下さい、というように使われます。見たり触ったり近づいたりするという意味です。「あなたには、アクセス権がないわ」と言われたら振られたということでしょう。

・アスキー

英語ではASCIIと書きます。この意味を誰かに聞かれたときに、American Standard Codeまで覚えていて苦し紛れにIIを2だと言ったことがあります。それじゃASC1もあるのかと聞かれて困ったことがあります。正確には、American Standard Code for Information Interchangeの略です。アメリカ規格協会が定めたもので、全てのコンピュータで使われている文字コードの標準です。

・アスタリスク

「\*」このマークがアスタリスクです。ITの世界では、任意の文字列という特別な意味をもっています。はっきり分からない文字を\*で表します。Googleなどではワイルドカード検索と言って、これを使うと便利です。たとえば、一部が分からない江東区 研修センターなどを調べるときに、「江東区\*研修センター」で調べることが出来ます。江東区医療研修センターや江東区お好み焼き研修センターなどが出てきます。この時に使う\*は半角です。

・「@」アットマーク

アットマークは、電子メールが普及する前は、商用記号として使われていて@300円と書くとき単価300円という意味でした。1970年代になって、「at」の意味として電子メールアドレスに使われました。社内メールでは、「廣瀬@本社」などという書き方も行われています。掲示板で「名無しさん@お腹いっぱい」というのは匿名のことです。今ではインターネットを象徴する文字になっています。

・アップル

IT業界では、iPodで一躍有名になったパソコンメーカーのアップルコンピュータを指します。なぜ、この会社の名前がアップル(林檎)なのかという理由は、社長のジョブズが肉食主義者でリンゴ好きという説と、ビートルズの大ファンだったという説があります。リンゴのマークはなぜ欠けているか、それはかじった歯の跡というのが定説です。「かじる」を意味するBiteと情報の単位のByteをかけたネーミングだと言われています。アップルは何かと話題を提供してくれる面白い会社です。

・アナログ

パソコンやデジタル機器に疎い人が「俺は、アナログ人間さ」といじけて言うことがあります。今の世の中、テレビも電話も何でもデジタルになり、アナログは遅れているというイメージになってしまいました。しかし、腕時計や車のスピードメータは昔ながらの針がついたアナログ方式が主流です。アナログは、直感的にすばやく物事を捕らえるのには適した方式です。アナログはアナロジーから派生したものでより人間的とも言えます。アナログは不滅です。